

○ アドミッション・ポリシー ○

● 経済情報研究科 経済情報専攻(入学定員8名)

経済情報研究科は、大きく分けて経済学・経営学・情報科学の3つの研究分野を持ち、学部教育を踏まえ、より高度な研究と教育を行うとともに国際的な視野の下、経済学・経営学・情報科学の新しい発展並びに地域経済の要望を踏まえた教育と研究に取り組んでいます。更に、国際社会への貢献並びに教育・文化の国際交流の一層の促進のために優秀な留学生の受け入れを積極的に行っています。

このような教育理念のもと経済情報研究科は、経済学・経営学・会計学・税務ほかの諸領域において活躍できる専門的職業人及び研究者、高度な情報科学の修得に基づき経済学・経営学・会計学・税務ほかの諸領域において活躍できる情報分野の専門的職業人及び研究者を養成することを目的としています。

経済情報研究科は、ディプロマ・ポリシーならびにカリキュラム・ポリシーにおいて具体化された教育理念・教育目標に基づき、以下のような人を求めています。

1. 学士課程教育において、専門的知識・技能と、日本語および外国語によるコミュニケーション能力とを高めることで、日本や世界の諸問題の解決に寄与する能力を身につけている人
2. 学士課程教育において、経済・経営・情報の3分野に関する専門的知識を、人間・社会・自然に関する他分野の学問的知識と組み合わせることで、高度に情報化した現代経済社会の意味を探究する能力を身につけている人
3. 学士課程教育において、経済・経営・情報の3分野に関する専門的知識および基礎的技能を修得し、それらを活用して現代の経済社会を多面的に理解し、家庭・企業・地域等で活躍する能力を身につけている人
4. 本研究科で学修することによって、官公庁や企業において経済・経営・情報分野の指導者、海外で活躍する国際公務員や公共団体・民間団体の国際交流担当職員、地域の活性化に貢献する地域社会の指導者、税理士や公認会計士、経済学・経営学・会計学・情報科学等の分野の研究者を目指す人

● 日本文学研究科 日本文学専攻(入学定員6名)

日本文学研究科では、日本の文学と言語文化を総合的に捉えつつ、日本文学・日本語学・漢文学の発展的研究に取り組むことで、日本語、日本文学、日本の芸術文化を深く理解します。このような教育理念のもと、社会活動や文化活動において指導的役割を果たし、社会の発展に寄与する人材を養成することを目的としています。

日本文学研究科の教育の理念・目的に基づいた、ディプロマ・ポリシーを満たし、そのためのカリキュラムに適応できる能力・適性をもった人として、日本文学研究科は以下のような人を求めています。

1. 大学の学士課程等において日本文学・日本語学・漢文学に関する基礎的な知識と研究方法を修得している人
2. 自分自身の研究テーマをもち、それを自らの力で探究していくことういう意志のある人
3. 本研究科での高度な学びを通じて、社会や文化の進展に貢献していくことういう意志のある人

● 美術研究科 美術専攻(入学定員12名)

美術研究科の教育理念は、個々人の資質を尊重し、それぞれの学生が表現者としての立脚点と方向性を模索しながら、研究科教員と学生とのコミュニケーションを軸に、自己表現へ向けた研究を展開させていくことです。このような教育理念のもと、美術における専門家として持続的な創作活動に携わり、地域や社会の文化・芸術に寄与する人材を輩出することを目的としています。

- 美術研究科は、研究科の教育理念・目的に基づき、以下のような人を求めています。
1. 専門分野の基礎的な知識や技術を修得し、様々な分野の考え方や理論を吸収した上で、それらを展開して自己表現に結びつけることができる。
 2. 自ら課題を発見し、その解決方法を模索した上で、研究テーマを明確に設定し、表現の可能性を持続的に探究できる。
 3. 研究成果を社会に向けて継続的に発信し、他者との関わりの中で自らの表現力や創造性を高めることができる。

尾道市立大学大学院

21世紀と共に歩む尾道市立大学は、時代の要請に対応し、高度な専門的知識・能力、

それに裏付けられた創造性・判断力、高い見識などの育成に特化した、

実践的な教育を行う大学院修士課程を設置しています。

本学修士課程では、学士課程教育で培われた専門的素養をもとに、

変わりゆく時代と地域社会の姿に応じた、より高次の学修と研究に取り組むことができます。

入学検定料・授業料

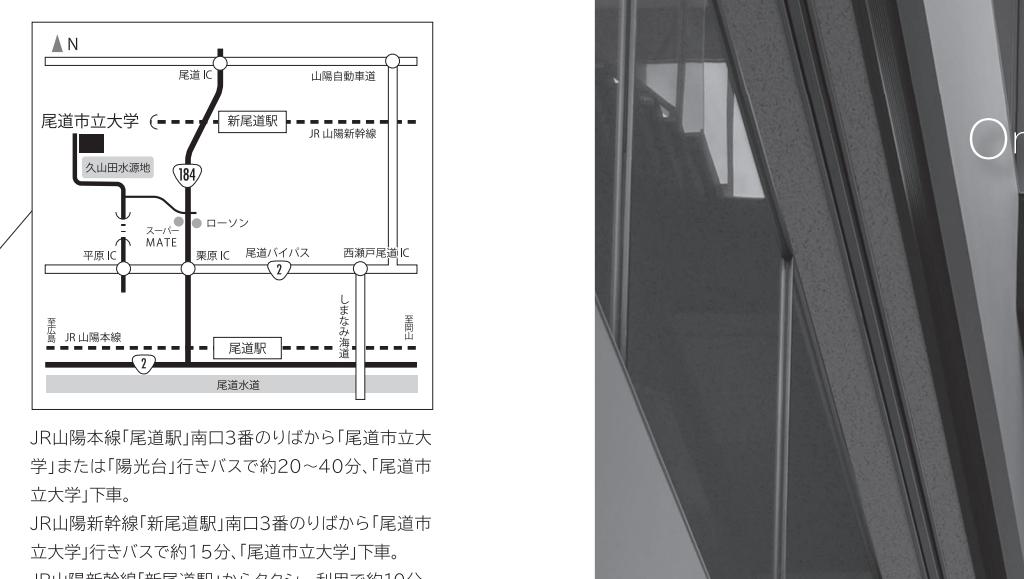
| | |
|-------------|-----------|
| 入学検定料 | 30,000 円 |
| 入学料 尾道市内在住者 | 282,000 円 |
| 上記以外 | 423,000 円 |
| 授業料(年額) | 535,800 円 |

*「尾道市内在住者」とは本人又はその配偶者若しくは1親等の親族が尾道市内に、入学月の初日から引き続き住民登録をしている者です。

*外国人留学生は2分の1の額(入学料は「上記以外」の2分の1)です。

*本学学部生(卒業生を含む)が入学する場合の入学手続時納付金については、上記入学料から282,000円を控除した額とします。

*経済情報研究科ではノート型パソコンが必携となります。



尾道市立大学 大学院 2024

Onomichi City University Graduate Program

Economics, Management & Information Science
Japanese Literature
Art & Design

□ 教育課程の特色

経済情報研究科

経済情報研究科では、次のような教育に重点を置いています。

・多様な専門知識とその実践的活用能力を備えた専門的職業人の養成

・他大学大学院の博士(後期)課程への進学を念頭においた研究者の養成

また本研究科は、教育研究の柱となる領域(分野)として、経済系・経営系・情報科学系の三分野で構成されています。現代経済社会を捉える基本的視点を確立するために、経済系・経営系の連携により現実の事象や問題を根底から理解する必要があります。そこで、経済および企業経営・管理等の研究教育を情報技術が支えるという枠組みに注目し、三分野を融合させた新たな学問領域の展開を目指すことに主眼を置いています。情報科学の成果を積極的に導入することにより、経済・経営両系のみで構成された既存の体系では得られない知見と問題処理能力を獲得できると期待されます。

日本文学研究科

日本文学科は、次のように教育課程を編成し、実施します。

- ・必修の総合科目としてオムニバスの「日本文学・言語文化論」を置き、日本の文学と言語文化を総合的に捉える視点を養います。
- ・日本古典文学・日本近代文学・日本語学・漢文学のそれぞれに特講と演習を設けて必修の基幹科目とし、高い専門知識と研究能力を育みます。
- ・その他専門と関連の多数の選択科目を配置し、広い視野と深い学識の養成を図ります。
- ・選択科目の中に「比較文学特論」や「地域文学特論」等を置き、国際文化や地域文化に関する教養の充足を促します。
- ・徹底した少人数教育と個別の研究指導により、修士論文執筆の力を養成します。

美術研究科

美しい山門をくぐって本堂に立つ。

何をしにここにいるのか、何を尋ねてここに来たか。人生の一つの岐路である。

もはや師を頼っているところではない。

自分が自分の師であり、その弟子としての自分がいる。

それが美術系大学生の本分である。

指導教員と五角の取り組みができることが

目的であり、こころざしである。

経済情報研究科 経済情報専攻（修士課程）

修了要件

本研究科に2年以上在学し、30単位以上の単位を修得し、修士論文審査および最終試験に合格すること。

学位

修士（経済情報）

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状（商業）を既に取得している方で、本研究科で所定の授業科目の単位を修得し、修了要件を満たして修士の学位を授与された方は、高等学校教諭専修免許状（商業）を取得することができます。

長期履修制度

標準修業年限は2年ですが、社会人の学生のため、最長4年の長期履修制度があります。

秋入学制度

春入学試験と秋入学試験を分けて実施し、9月入学を可能にしています。

税理士試験について

税理士試験については、一定基準を満たせば「試験科目免除」制度の適用を申請することができます。

